

令和7年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童の実態や個人に合わせたプリントなどを使いながら指導をすることができたため、少人数指導を行うことが効果的であった。
- ・算数的活動の中で、理科や社会で学習したデータを活用することで、日常生活と算数との関わりにも目を向けさせ、関心を高めることができた。
- ・図形に関する問題で、図形の構成要素や性質を考えられる作業を授業に積極的に取り入れたことで、「図形」の領域の確かな理解につながった。また、ICTを活用して、視覚的に理解できるようにすることができた。
- ・授業の中に友達と交流して考えを広げていく場を積極的に取り入れたことで、思考力が高まった。

(2) 課題

- ・文章題から聞かれていることを正しく読み取り、式や計算を考えて解くことや、表やグラフから読み取ったことを記述で答える問題に課題が見られる。
- ・各学年全体的に目標値を大きく上回っているものの、第4学年では、「データの活用」と関連して「表とぼうグラフ」の正答率は80ptを下回った。これは、資料を読み取り、活用する力において課題があると考えられる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」 目標値よりも11pt、区 の平均正答率よりも 8pt以上上回ってい る。 ○「思考・判断・表現」 目標値よりも14pt、区 の平均正答率よりも 10pt以上上回ってい る。しかし、観点別正 答率では一番低い結 果になっているため、 この点が課題である と考えられる。 	/	/
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○観点別では、どの観点 も10pt以上目標値、 区平均、全国平均を上 回った。 ○領域別では、どの領域 	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」 目標値よりも14pt、区 の平均正答率よりも 10pt以上上回ってい る。 ○「思考・判断・表現」 目標値よりも13pt、区 	/

	<p>も 10pt 以上目標値、区平均、全国平均を上回った。</p> <p>○問題の内容別では、どの問題も目標値、区平均、全国平均を上回った。特に「角の大きさ」「簡単な場合についての割合」「折れ線グラフと表」については、目標値を 20pt 以上上回った。</p>	<p>の平均正答率よりも 10pt 以上上回っている。しかし、観点別正答率では一番低い結果になっているため、この点が課題であると考えられる。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」 目標値よりも 15pt、区平均正答率よりも 11pt 以上上回っている。</p> <p>(第 4 学年時)</p>	
第 6 学年	<p>○観点別では、どの観点も 15pt 近く目標値、区平均、全国平均を上回った。</p> <p>○領域別では、どの領域も約 10pt 目標値、区平均、全国平均を上回った。</p> <p>○問題の内容別では、全ての問題で目標値、区平均、全国平均を上回った。特に「分数の計算」「比例・単位量あたりの大きさ」では、20pt 近く上回り、逆に「割合」は 5pt 程度の上回りとなった。</p>	<p>○観点別では、どの観点も 10pt 以上目標値、区平均、全国平均を上回った。</p> <p>○領域別では、どの領域も目標値、区平均、全国平均を上回った。</p> <p>○問題の内容別では、どの問題も目標値、区平均、全国平均を上回った。特に「わり算・計算のきまり」や「小数」「分数」「面積」「変わり方調べ」「簡単な場合についての割合」については、15pt 近く上回った。</p> <p>(第 5 学年時)</p>	<p>○「知識・技能」 目標値よりも 12pt、全国と区平均正答率よりも 11pt 以上上回っている。</p> <p>○「思考・判断・表現」 目標値の正答率を 20pt 以上回っており、良好と言える。しかし、観点別正答率では一番低い結果になっているため、この点が課題であると考えられる。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」 目標値、全国・区平均正答率よりも上回っている。</p> <p>(第 4 学年時)</p>

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる	目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる	授業中、すすんで問題を解き、意欲的に発言する児童が多い。 一つの考えだけでなく、別の考え方を考えようとする姿が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。	目標値、区平均、全国平均を上回っており、概ね良好と思われる。	授業中、すすんで問題を解き、意欲的に発言する児童が多い。 問題文をよく読んだり、自分の考えを説明したりする児童が多い。
--------------------------------	--------------------------------	--

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○ブロック等具体物を操作することで、数の分解・合成の理解を深める。それを生かして加法計算や減法計算ができるようにする。 ○加法、減法、数の分解・合成などについて、他教科や生活の中で生かせる場面を探し、適宜応用させていく。 ○長さの測定が正確でなかったり、直線が曲がってしまったりする児童が多い。また、目盛りを正確に読み取ることも課題が見られた。他教科とも関連させながら、積極的にものさしを使い身に付けていく。 ○時計から時刻を正確に読み取れていない児童が多い。日常から時刻を読み、何分前、何分後の感覚に慣れ親しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題から正しく立式できない児童が多い。文章を簡単な図や絵で表現する活動を取り入れ、場面の様子を理解し立式させる。また、立式のための手立てとなる数や言葉に着目させるよう、繰り返し指導していく。 ○問いかけ型の発問を増やし、「なぜ」「どうして」と思考する習慣をもたせ、理由を表現する活動をする。 ○デジタル教科書や書画カメラ、タブレット端末等のICT機器を使い、視覚的な理解ができるような授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○加法、減法、数の分解・合成などについて、他教科や生活の中で生かせる場面を探し、適宜応用させていく。 ○計算カードの反復練習やタブレットのドリルコンテンツを用いた習熟に積極的に取り組み、児童が楽しさを感じながら学べるようにする。 ○具体物や図、絵などを用いたり、手遊びなどを取り入れたりと数の構成に興味をもって活動に取り組もうとする態度を養う。 ○長さや水のかさなどの単位を日常生活から探す活動を取り入れ、算数が日常生活にたくさん使われていることに気付かせる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」の領域では、答えを見直すように指導する。また、計算の順番を説明させることで、計算のミスをなくすようにさせる。 ○「図形」の領域では、模型や道具等の具体物に触れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題をよく読んで、聞かれていることを正しく読み取り、それに合った式や計算を考え、解くようにする。数量関係を表す図を基にさせて考えさせる。 ○問題の解き方について、自 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題文をよく読み、「分かっていること」「求めること」に線を引き、問題を把握させる。 ○既習事項を確認することで、どのように解いたらよいか見通しをもたせる。

<p>ことで、習熟が深まるようにする。ICTを活用して、視覚的に理解をできるようにする。</p> <p>○「測定」の領域では、ICTを活用して時間の計算の習熟を図る。</p>	<p>分の考えを友達に伝える活動を数多く取り入れる。また、伝え方のモデルを示す。</p> <p>○「長さ・重さ」において、量感をもって課題に取り組む経験を増やす。</p> <p>○多くの領域で思考したことを言葉で説明できるようにロジカルな思考を育てる。</p>	<p>○身に付けた内容を生活の中で、どのように生かせるか児童に考えさせる。</p>
---	--	---

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○作図の際にはICT機器を活用したり、何度も練習をすることによって技能が定着できるようにする。</p> <p>○児童の実態や個人差に合わせたプリントやICTを使いながら、繰り返し問題を解決して、確実に定着していけるようにする。</p>	<p>○計算の仕方を、言葉や式、図などを使って説明する活動や、友達との交流を計画的に取り入れ、根拠をもとに計算したり、説明したりできるようにする。</p>	<p>○友達の考えや自分の考えを書く活動を通して、思考を深めたり、表現力の向上につなげたりする。</p>